

「文化による都市の再生
～ 欧州の事例から」

はじめに

「文化による都市の再生」のキーワードとして、世界各地で地域や人間の持つ“Creativity”が注目を浴びています。文化遺産や歴史遺産を活用したまちづくりや都市計画はこれまでもさまざまな地域や都市で行われてきており、特段目新しいことではありません。しかし、「文化」や「芸術」が創出される過程で発揮される創造力や革新力といった動的な力やダイナミズムに着目した都市計画となると極めて新しい概念です。これがいわゆる“Creative City”論として欧米各地の都市戦略に積極的に取り入れられ、さまざまなプロジェクトが展開されており、多くの都市や地域で再生が果たされつつある状況が報告されています。

他方、わが国も、不況、高齢化、少子化社会などさまざまな社会的課題を抱えており、地方自治体等では地域再生の具体策を模索している現況です。特に従来の造船、鉱業、工業などを産業基盤としていた地域において「地域再生」は緊急の課題ともなっております。そこにおいて、「文化財」としての産業遺産の活用など、従来の「文化」、「芸術」とは異なる、新しい都市政策や経済政策が次第に着目されています。さらに、NPOをはじめとする多様な市民組織が参画した、文化を活用したまちづくりに対する関心が今後ますます高まることが予想されます。

そこで、国際交流基金では、こうした状況を踏まえ、平成15年9月、多くの先進事例が見られる欧州に専門家を派遣し、現地調査を実施いたしました。本調査においては、地方自治体やNPO関係者、実際にプロジェクトを運営している担当者などへのインタビューとともに現地で入手した資料をもとに、欧州での最新動向の調査と分析を行いました。

今般、その調査結果をとりまとめ、報告書として刊行する運びとなりました。本報告書が、国際文化交流に関心を有する多くの方々のご参考となれば幸いです。

最後に、本調査にご尽力、ご協力をいただきました関係者の方々に厚く御礼を申し上げます。

平成16年3月
独立行政法人 国際交流基金
企画部

目次

スペイン	
ビルバオ市における都市再生のチャレンジ グッゲンハイム美術館の影に隠された都市基盤整備事業1
吉本光宏	
フランス	
甦るナント 都市再生への挑戦31
菅野幸子	
オランダ	
国際シンポジウム「創造性と都市」とオランダの都市計画55
佐々木雅幸	
執筆者紹介65